



# はんだ山の風



## Contents

- P.2 ごあいさつ 副病院長(運営・管理担当) 峯田 周幸
- P.2 新任医師の紹介 神経内科 小西 高志
- P.3 電子カルテについて 医療情報部長 木村 通男
- P.3 樹木剪定ボランティアが行われました 医事課
- P.4 シリーズ最先端医療「大動脈瘤に対するステントグラフト治療」  
血管外科 講師 海野 直樹
- P.5 地域医療における大学病院の役割 -リーダーであり、コーディネータであり-  
医療福祉支援センター長 小林 利彦
- P.6 7月からの工事区域、施設の紹介
- P.7 外来棟の改修工事について
- P.7 感謝状が贈呈されました。 医事課
- P.8 交通のご案内



浜松医科大学医学部附属病院  
**常勤・パート看護師募集**

お問い合わせ

- 人事課任用係 TEL.053(435)2117
- 看護部事務室 TEL.053(435)2627

### 病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。  
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

### 基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立

## ごあいさつ

副病院長(運営・管理担当) 峯田 周幸



浜松医科大学附属病院の建設に2回立ち会うことになるとは思いませんでした。30年前に森の中に新病院が建設され、実習の進捗につれて建物も拡大してゆきました。当時は診療録の移動システムが新しく、多くの見学者がきておりました。中には、モノレールのように動く箱を見ながら、下を走ってゆく子供も大勢いました。モノレールは突然部屋に消えますが、上ばかり見て追ってくる子供は入り口にゴツンと頭をぶつける危険なものもありました。

今回の新病院建設では診療録の電子化に伴い、モノレールは消えてしまいましたが、30年の流れは想像だにできなかった新しい時代を運んできました。担当する耳鼻咽喉科・頭頸部外科は病棟も外来もピッカピカです。気持ちのよさはこの上ありません。患者さんも一時の“外来迷子”がなくなり、落ち着いて診療ができる環境になりました。

浜松市には大きな病院が7つもあり、救急体制はほかの自治体に比べれば大変恵まれています。しかし病院にとっては、競争相手ばかりです。県下唯一の大学病院として、医療の研究機関としての使命と県民の健康を守る責任を担い、“地域医療の最後の砦となる病院”を作るため尽力するつもりです。

私も56歳になりました。一般企業に就職した高校の同級生は、一線をひいて閑職についているものも少なくありません。こんな私に声をかけてくれた病院長のためにも、明日の浜松医科大学を担ってくれる研修医や学生のためにも、そして私を育ててくれた浜松市や静岡県の人たちに少しでも恩返しをするためにも、一層精進してまいります。今後ともご指導よろしくお祈りします。

## 新任医師の紹介

神経内科 小西 高志



平成9年に本学を卒業し、本学と焼津市立総合病院での内科研修の後、神経内科医として国立静岡病院（現、静岡てんかん神経医療センター）、そして静岡赤十字病院で診療に当たってきました。昨年度からは院生として研究を中心とする生活でしたが、今年度からは助教を務めさせて頂くこととなりました。患者さんの診療をはじめ、医学研究や次世代の医療人を育むことも大学に求められている大切な役割です。微力ながら精一杯努めたいと思います。よろしくお祈りします。

神経内科は文字通り神経系を扱う内科です。神経系の働きは一見複雑ですが、大雑把には、周囲の状況をキャッチすること（感覚入力）、その状況にどう対応するかを判断すること（脳と脊髄からなる中枢神経）、その判断通りに行動すること（中枢神経から筋肉までの運動出力）に分けられ、そのいずれの不都合であっても健康に影響し

てしまいます。神経内科の診療範囲も全身に及び、神経変性疾患（パーキンソン病、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症など）、代謝性神経・筋疾患（内科疾患に伴う神経症状なども含む）、免疫性神経疾患（重症筋無力症、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群、多発筋炎など）、認知症、てんかん、頭痛、脳血管障害などがあり、当科でも他の多くの診療科と連携して患者さんの診療に当たっております。また当科では遺伝子に関する診断と治療法の解明にも積極的に取り組んでいます。患者さんとしては、神経内科で何を診ているのかイメージしにくいと思われるかもしれませんが、気になる症状について神経内科の受診が必要か分からない場合は、かかりつけの医師と相談されることをお勧めします。

## 電子カルテについて

医療情報部長 木村 通男

本院でもようやく、病棟では5月から、外来では7月から、電子カルテシステムが導入されます。

導入される機種は、NEC製のシステムで、西部医療センター、聖隷2病院と同じものです。

カルテが紙でなく画面で見えるようになるメリットは、外来受診-検査-戻って外来、あるいは入院中の各種検査などで、「カルテ待ち」と言われる、紙カルテが運ばれてくるのを待つということがなくなる事と、情報の保存量の増加です。紙だと保管場所にかなりのスペースが必要です。今でも10年位前からのものは保存してありますが、今後はカルテデータは捨てないつもりで、受診後相当の時間が経っても、カルテ情報をお出しできるように設定して行きます。

今ちょうど、災害に強い病院作りということで、建物の工事を行っています。電源の二重化、データバックアップの充実など、自然災害、停電、ネットワーク障害などの場合でも、患者さんのデータをお出しできるように備えています。

この後、この電子カルテに繋がった患者案内システムも導入予定で、他の場所においても外来の待ち状態をチェックできたり、待合室ではいろいろなニュースやビデオも流す予定です。

完成は来年になりますが、ご期待ください。



## 樹木剪定ボランティアが行われました

4月15日（日）、樹木剪定ボランティアの皆さんによるヤマモモ他の剪定作業が行われました。当日は良い天気恵まれ、念入りのミーティングの後剪定が進められました。

この剪定ボランティアは遠州庭園同好会の皆さんによるもので、今回が10回目の活動になります。皆さんの丁寧な剪定により、大学入口にある

ヤマモモや椿がすっきりと形を整えました。葉が茂る頃には、更にきれいな姿を私たちにを見せてくれることでしょう。

朝早くから剪定、片付けまで一日がかりで作業をしていただき、患者さんに喜んでいただける玄関口になりました。遠州同好会の皆さん、ありがとうございました。 医事課





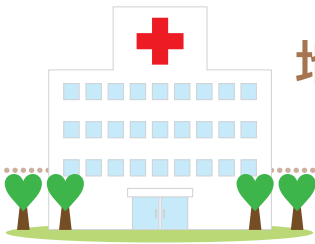
## 大動脈瘤に対するステントグラフト治療

血管外科 講師 海野 直樹

大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術は、腹部大動脈用が2007年4月に、胸部大動脈用が2008年7月に厚生労働省の認可を得て健康保険が受けられるようになりました。

ステントグラフトとはステントといわれる金属の骨格構造を持った人工血管です。圧縮して7-10mm径のカテーテル内に収納した状態で、このカテーテルを足の付け根にある大腿動脈から大動脈に向かって挿入していきます。大動脈瘤の部分までX線下で観察しながら進め、大動脈瘤の内側で拡張させて留置します。動脈瘤はステントグラフトにより蓋をされることになり、血液はステントグラフト内を流れることとなりますので、動脈瘤の破裂を防ぐことができます。この手術術式が開発される以前は、大動脈瘤治療は大動脈瘤を切開し、糸と針によって人工血管を直接血管壁に縫い付ける人工血管置換術が主として行われていましたが、この方法だと、胸部や腹部を切開する必要はありませんので、患者さんの身体にかかる負担は極めて少なくなります。当科ではこれまで胸部、腹部大動脈瘤患者さんに対するステントグラフト治療を併せて300人以上の方に行って参りました。手術は麻酔も含めて約3時間程度であり、手術翌日から歩行や食事が可能となります。通常は手術後約7～10日で退院になります。この領域の医療機器の進歩は非常に早く、常に最新、最良の医療機器を導入して治療を行うことを心がけております。





## 地域医療における大学病院の役割

### - リーダーであり、コーディネータであり -

医療福祉支援センター長 小林 利彦

地域医療における大学病院の役割は何であろうか？まず言えることは、優秀な医療人を養成して地域の医療機関に輩出・貢献することである。この点について異論を唱える人はいないと思う。次に、高度かつ最新の医療を追求し、地域を引っ張っていくリーダー的役割があると思う。採算性だけを追求せず、アカデミズムのもとチャレンジャーであり続けることも重要だと考える。正直、この2点が大学病院の使命だと信じていたが、最近、新たなものが見えてきた。それが地域医療におけるコーディネータとしての役割である。

東京のように周囲数km内にいくつもの大学病院がある地域と、医療圏あるいは都道府県に一つしか大学病院がない地域とでは、大学病院の役割に違いが生じるのは当然であろう。また、地域によっては、大きな自治体病院や民間病院等が積極的にマネジメントを行い、大学病院は承認さえしてくれれば良いとするところもあるかも知れない。しかし、当地、浜松市でも経験したが、4年ほど前に複数医療機関が地域連携パス（大腿骨頸部骨折・脳卒中）を通じて築き上げた？良好な連携関係が、「5大がん地域連携パス」や「感染防止対策加算」「救急搬送患者地域連携（紹介・受入）加算」等でやや混乱しそうになった。その理由として、大腿骨頸部骨折と脳卒中のパスは、事務主導である程度の書式作成や準備が可能であり、医師への周知や根回し、意思決定などは一診療科で済んだことが大きいと考える。一方、がんや感染対策などでは、複数診療科の医師の了解や、病院長レベルでの挨拶や調整等がある程度必要となる。地域の一医療機関の事務長や一診療科医師には、その調整が困難なことは容易に想像がつく。

平成22-23年に、浜松市の「5大がん地域連携パ

ス」共通化作業に関与した頃から、大学病院がこの種の地域医療マネジメントにリーダーかつコーディネータとして参画することの意義を感じていた。実際、市内の各病院には浜松医科大学出身の医師が多い。大学病院が若干の音頭を取ることで、各種の作業が案外スムーズに進むことを経験し学んだ。そんな折、平成24年度の診療報酬改定で「感染防止対策加算」と「救急搬送患者地域連携加算」が注目された。これまで、地域連携パスや医療情報の共有システム等で全国のモデル地区とされた近隣の都道府県や市町村などから、「連携施設の組み合わせに偏在が強い」「地域で仲間外れにされた」「どこと組んで良いのか誰も指導してくれない」との声が聞かれた。私は、市内の病院にいち早く電話連絡等をして、この加算の意義を説明し地域医療のレベルアップに向け参加して欲しい、そのノウハウは市内の大病院が指導するので是非とも院内で検討して欲しいとお願いした。同時に、各施設の組み合わせに関しては、私の方でひな型を作るから原則それに従って欲しいと依頼した。市内急性期病院の病院長会議ほか、療養型病院長との会合、医師会の理事会等でもその方向性に了解をいただき、他の地域とは比べようがないくらい迅速にこの問題が解決された。

この種の地域医療マネジメントで、大学病院が直接関与することに疑問を抱く人もいるかも知れない。しかし、得てして「お高く留まりがちな大学病院」が地域のマネジメントに大きく貢献すると、地域医療機関の大学病院を見る目が変わることも事実である。私は、この種の役割を担うことも大学病院のブランディングにつながると考えているが、皆さんはどう思われますか？

## 7月からの工事区域,施設の紹介

### 食堂,売店等がリニューアルオープンしました。

長い間、皆様にご迷惑をおかけしていましたが7月2日から営業を再開しましたのでご紹介します。職員食堂では、お弁当の持ち込みができます。お気軽にご利用ください。

**仮設 外来棟**

**2F**

形成外科 内科  
外科 産科婦人科  
麻酔科 蘇生科 泌尿器科  
整形外科 小児科  
総合受付

正面入口

外来棟⇄仮設外来棟 (連絡通路)

放射線部  
核医学検査室  
検査部 脳波測定室  
採血室

病棟へ

通行止め (8/4~)

**1F**

救急部 救急出入口

ラルス治療室 臨床研究管理センター  
支援センター  
薬剤受渡口・相談  
売店  
職員食堂  
レストラン

リハビリテーション科  
リハビリテーション

多目的ホール

通行止め (7/14~)

守衛室  
フォトサービス

**郵便局** (平日 9時~16時)  
(土・日・祝 休み)

**職員食堂** (平日 11時~14時)

**レストラン** (平日 8時~18時)  
(土・日・祝 11時~14時)

**メガネ店** (平日 9時~17時)  
(土・日・祝 休み)

**理容室** (平日 9時~17時)  
(土・日・祝 休み)

**売店(薬店・書店)**  
(平日 8時~19時)  
(土・日・祝 10時30分~17時)

## 外来棟の改修工事について

平成24年1月から外来改修工事の第2期工事が始まりました。2期工事では、外来棟耐震補強（1期工事から継続）及び高層階の解体工事が行われます。この2つの工事について概要をお知らせします。

### （1）外来棟の耐震補強工事の概要

外来棟の耐震補強は、高層部6階以上を解体し、建物重量を減らすとともに、改修する低層階については「コンクリート耐震壁」や「鉄骨耐震ブレース」を増設し、耐震性能の向上を図っています。

### （2）外来棟高層階の解体工事について

解体工事は、屋上から10階へと順次、下階へ解体していきます。解体方法は、既存外来棟への振動、騒音による影響を最小限にするため、梁・壁・柱はダイヤモンドワイヤーソーを主体とし、床スラブは道路カッターを主体とした切断工法で行います。これらの切断ピースは、おおよそ4,500個にのぼり、切断作業と併行して、東西2基のタワークレーンで階下に待機しているトラックに積み込み病院外へ運び出し、粉砕処理されます。

居ながらにして、これほどの大規模な解体工事は珍しいとのことでした。

学長、病院長をはじめ大学、病院の関係者が視察を行い、工事概要の説明を受けました。

振動、騒音はもとより、特に安全性確保には細心の配慮のもとで解体工事を進めていきますので、少しずつ高層階が解体されていく様子をご覧いただければ幸いです。



切断準備中のダイヤモンドワイヤーソー



関係者への説明

## 感謝状が贈呈されました。

平成24年6月7日（木）開学記日における記念行事が行われました。日頃のボランティア活動に感謝して3人の活動員の皆さんに学長から感謝状が贈呈されました。外来患者さんの案内を担当している皆さんは改修工事でめまぐるしく通行区域が変わるなか、案内を続けています。改修工事は来年まで続くため、今後ますますの活躍が期待されます。

ボランティアの皆さん、これからもよろしく願い致します。

医事課



# 外来診療日一覧

H 24.7.1現在

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
内科 435-2632												
総合内科 (初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第一内科 (消化器内科)	○	○	○	※○	○	○	○	○	※○	○		※午後のみ
(腎臓内科)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(神経内科)	○	○	○		※○	○	○	○		※○		※予約のみ
第二内科 (肝臓内科)	○	※○		○	※1○	○	※○		○	※1○		※午前のみ (予約のみ) ※1 午前のみ
(呼吸器内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
(内分泌・代謝内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
第三内科 (血液内科)	○		○	○	○	○		○	○	○		
(免疫・リウマチ内科)	○		○	○	※○	○		○	○	※○		※予約のみ
臨床薬理内科	※○			※○		※○			※○			※午後のみ (予約のみ)
循環器内科	○		※○	○	○	○		※○	○	○		※午後のみ
ペースメーカー外来								※○				※午後のみ (予約のみ)
ピロリ菌外来 (自費診療)	※○					※○						※予約のみ
精神科神経科 435-2635												
(初診・再診)	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
(森田療法)								※○				※午後のみ
(児童思春期)		○					○					
(摂食障害外来)								※○				※午後のみ
(認知療法外来)									○			
第一外科 435-2641												
(呼吸器外科)			※○		※○			※○		※○		※午前のみ
(小児外科)		※○					※○					※午後のみ
(一般外科 (内視鏡))	○		○		○	○		○		○		
(乳腺外科)	○	○			○	○	○			○		
心臓血管外科	○		○		※○	○		○		※○		※予約のみ
第二外科 435-2642												
(上部消化管外科)			○					○				
(下部消化管外科)	○					○						
(肝胆膵外科)					○					○		
(血管外科)		○					○					
(緩和ケア外来)					※○					※○		※予約のみ
脳神経外科 435-2644												
(初診・再診)	○	○		○	○		○		○	○		
整形外科 435-2638												
(初診・再診)	○		○	※○	○	○		○	※○	○		※午前予約のみ
(教授外来、脊椎)	○			※○		○			※○			※午前予約のみ
(骨粗鬆症)				※○					※○			※午前のみ
(リウマチ)			※1○	※2○				※1○	※2○			※1 午後のみ ※2 午前のみ
(手・末梢神経)			※○					※○				※午前のみ
(脊椎)	※○					※○						※午前のみ
(腫瘍)			※○					※○				※午後のみ
(股関節)					※○					※○		※午前のみ
(肩関節)					※○					※○		※午後のみ
(膝関節)					※○					※○		※午後のみ
(小児整形)	※○					※○						※午後のみ
皮膚科 435-2650												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(乾癬外来)	○	○		○	○	○	○	○	○	○		
(アトピー外来)	○		○			○		○				
(光線過敏症外来)		※○					※○					※奇数月第4週のみ
(脱毛症外来)	○					○						
(化学療法スキンケア外来)		○		○			○		○			
泌尿器科 435-2653												
(初診・再診)	○	○	○	○			○	○	○			
(腎移植外来)		※○	※1○	※2○			※○	※1○	※2○			※第4週午後予約のみ ※1 第4週は休診 ※2 第2週は休診
(結石外来)		○		○			○		○			
(排尿障害外来)		※○					※○					※午前のみ
(不妊症外来)	※1○				※2○	※1○				※2○		※1 午後(第2週は休診)のみ ※2 午後予約のみ
(前立腺密封小線源外来)		※○					※○					※午前のみ



診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
小児科 435-2638												専門外来午後の再診は、全て予約制
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
専門外来 (小児遺伝)		※○					※○				※午前のみ (完全予約制)	
専門外来 (内分泌)		○			※○		○			※○	※午前のみ	
専門外来 (心臓)				○	※○				○	※○	※午後のみ	
専門外来 (血液)									※○	※○	※午後のみ	
専門外来 (免疫・アレルギー)	○			※1○	※2○	○			※1○	※2○	※1 午前のみ ※2 第1週、3週、5週はAMのみ	
専門外来 (神経)		○		○			○		○			
専門外来 (腎臓)				※○					※○		※午後のみ	
専門外来 (新生児フォローアップ)							※○			○	※午後のみ	
専門外来 (乳児検診)	※○					※○					※午後のみ	
専門外来 (内分泌フォローアップ)								※○			※第1週午後のみ	
眼科 435-2656												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
専門外来 (網膜専門外来)						※○					※第4週午後のみ	
(斜視・弱視外来)								※○			※午後予約のみ	
(ロービジョン)										※○	※午後予約のみ	
耳鼻咽喉科 435-2659												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
専門外来 (腫瘍外来)	○					○						
(耳外来)				○					○			
(めまい外来)				※○					※○		※予約のみ	
(耳鳴外来)		○					○					
(難聴外来・人工内耳外来)		○					○					
(睡眠時無呼吸・いびき外来)					○					○		
(顔面神経外来)					○					○		
(鼻副鼻腔・アレルギー外来)				※○					※○		※午後予約のみ	
産科婦人科 435-2662											女性医師ご希望の方はお申し出ください	
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
婦人科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(産科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(腹腔鏡外来)		※○					※○				※午後予約のみ	
(光療法外来)			※○					※○			※午後予約のみ	
(母親学級)							※○				※予約制	
(女性漢方外来)		※○					※○				※第1・2・4週のみ	
A R T室 435-2664												
(不妊外来)						※○	※○		※○	※○	※午後予約のみ	
放射線科 435-2665												
(放射線治療外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ	
(アンギオ外来)		○		○			○		○		午前のみ	
麻酔科蘇生科 435-2668												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ	
リハビリテーション科 435-2747												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ	
形成外科 435-2496												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ	
歯科口腔外科 435-2673												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(唇顎口蓋裂外来)			○					○				
(インプラント外来)			○					○				
(顎補綴)			※○					※○			※診察日は外来にお問合わせください	
(矯正歯科)					※○					※○	※診察日は外来にお問合わせください	

診療受付時間

一般外来 午前 8時30分 ~ 午前11時まで  
 専門外来 午後 0時30分 ~ 午後 2時まで

休診日

土曜日および日曜日  
 祝日法による休日  
 12月29日~翌年1月3日まで

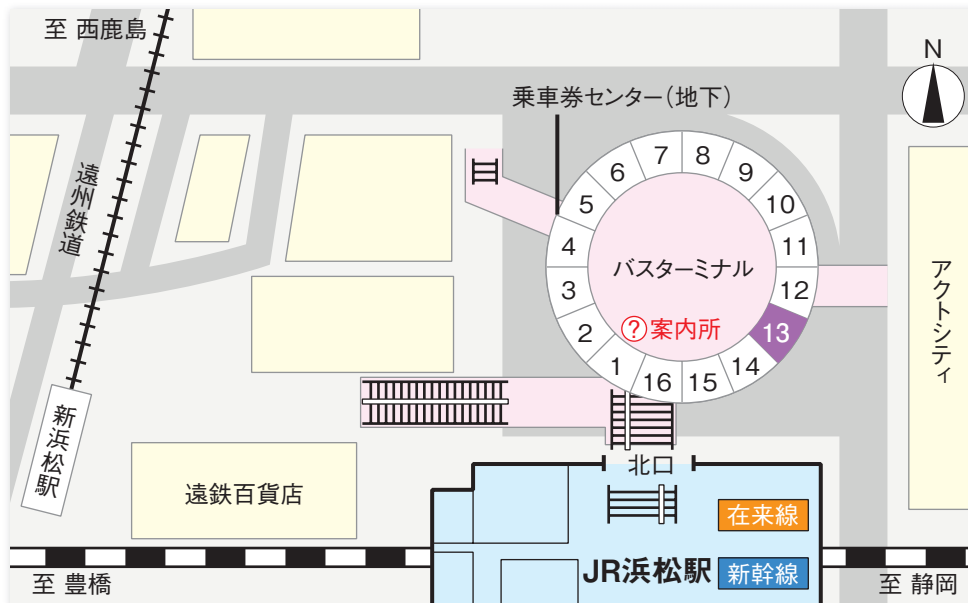
# 交通のご案内



## ●バスをご利用の方

バス乗り場	路線番号	路線名称等	所要時間	料金
13番ポール	50	磐田山の手線医大行き	約35分	410円
	57	医大循環(中央署まわり)	約35分	410円

## ●浜松駅からバスターミナルまで



病院広報 **はんだ山の風** 第8号 平成24年7月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号  
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス/ <http://www.hama-med.ac.jp/>